

雑草対策のパイオニア

インフラテックの防草製品



防草対策製品のパイオニアとして…

インフラテック株式会社は、1990年「GSボード」の販売を皮切りに、優れた品質の防草対策製品の供給を通じて、除草コストの削減や安全で快適な道路環境整備のお役に立ってまいりました。

この間、より良い製品を安定供給するため、様々な技術革新に取り組み業界をリードする独自のデザイン性と高い技術力で皆様から大きな信頼を頂いております。

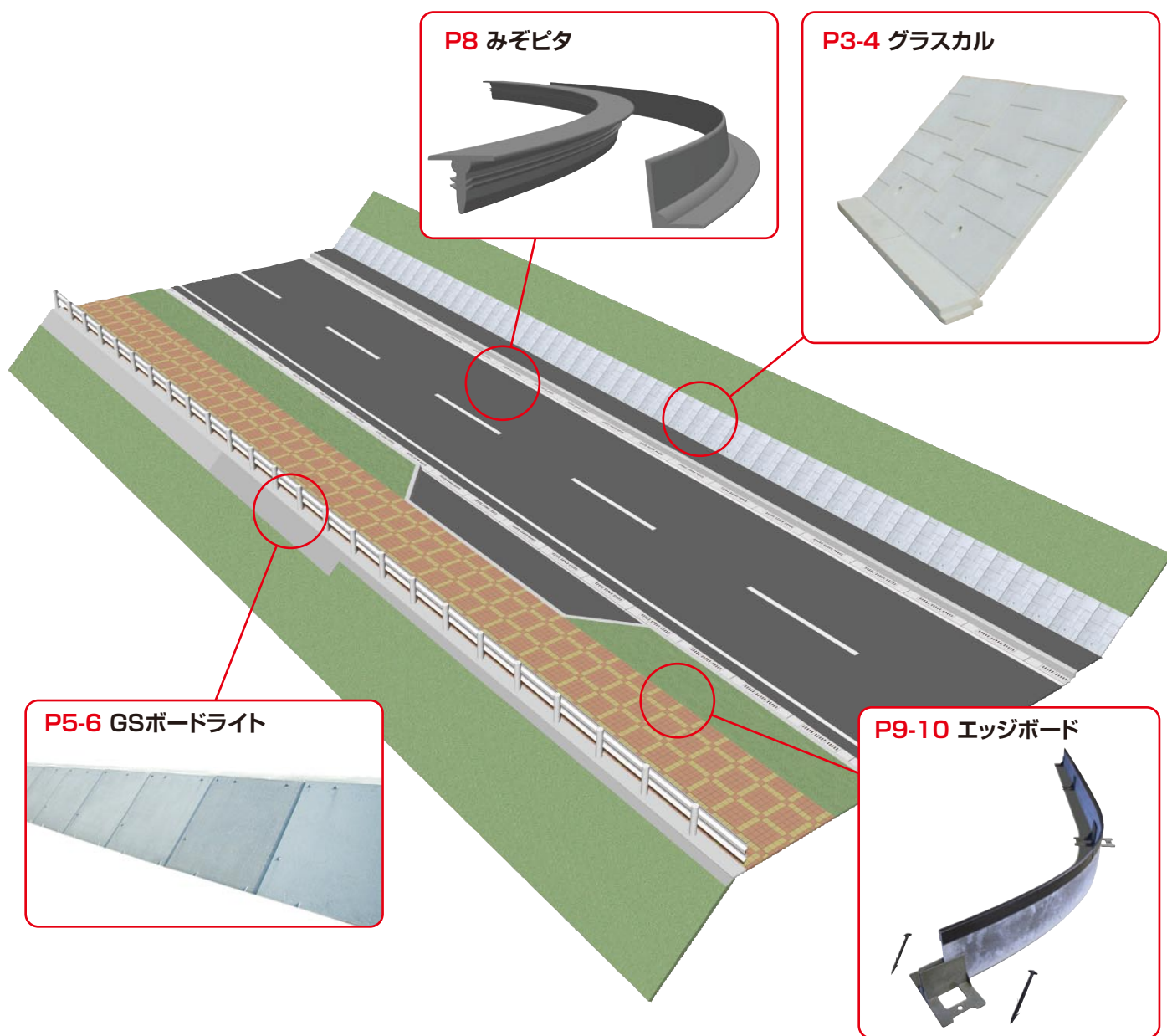
お年寄りや子供たちが安心して住むことができるまち作りや環境に配慮した社会基盤整備が全国で行われます。インフラテック株式会社は、これまでに培ってきた総合力で、グループをあげてこれに貢献して参りたいと考えております。

代表的な製品のH23年度
までの納入実績

グラスカル:30,800m

GSボードライト:58,000m

道路空間の様々な箇所で使用可能です。



製品選定のフローチャート



除草作業の問題を解消します。

グラスカルとは…

メンテナンスフリーの草刈り対策が要望されているなか、道路法面に設置することにより、草刈りの環境改善を目的とした法面草押え版です。

●特長

1.メンテナンスフリー

メンテナンスフリーの対策として歩道及び車道部に設置し、除草作業の問題を解消します。

2.安全性

雑草が車両の視線誘導の障害となることを防ぎ、歩行者通行の障害も防ぎます。

3.景観性

製品表面が景観的に配慮した石肌模様でデザインしており、周囲の環境と調和します。

4.防災性

雑草へのタバコの投げ捨てなどによる火災の発生を防止します。

5.施工性

法面草押え版本体と底版ブロックの接合面を曲面加工にしており法面勾配に対して施工がフレキシブルに対応できます。



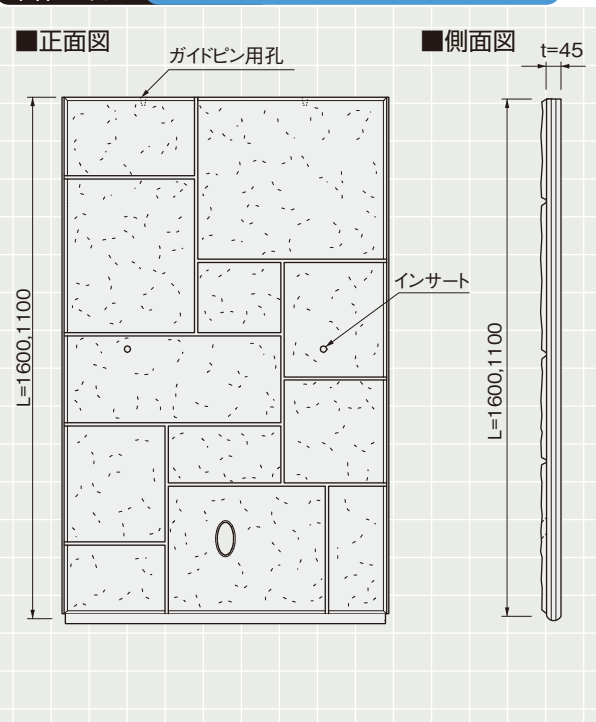
▲グラスカルの石肌模様の表面部の拡大図

基本形状図

形状・寸法・重量

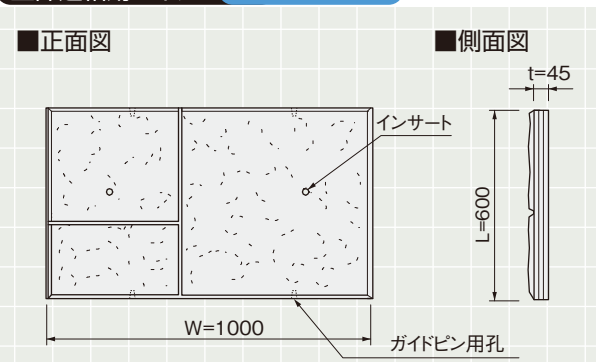
本体パネル

参考重量=L1600-192kg/L1100-132kg



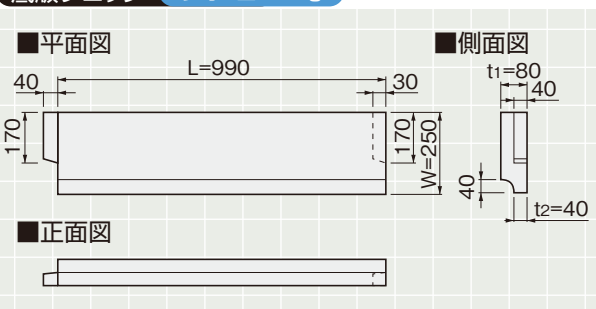
上部連結用パネル

参考重量=72kg



底版ブロック

参考重量=43kg



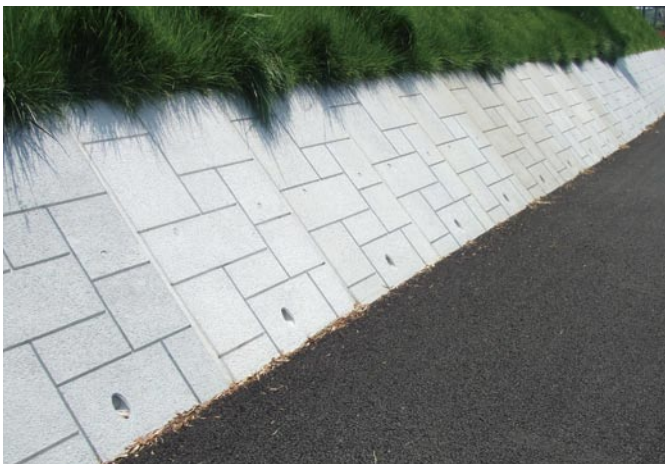
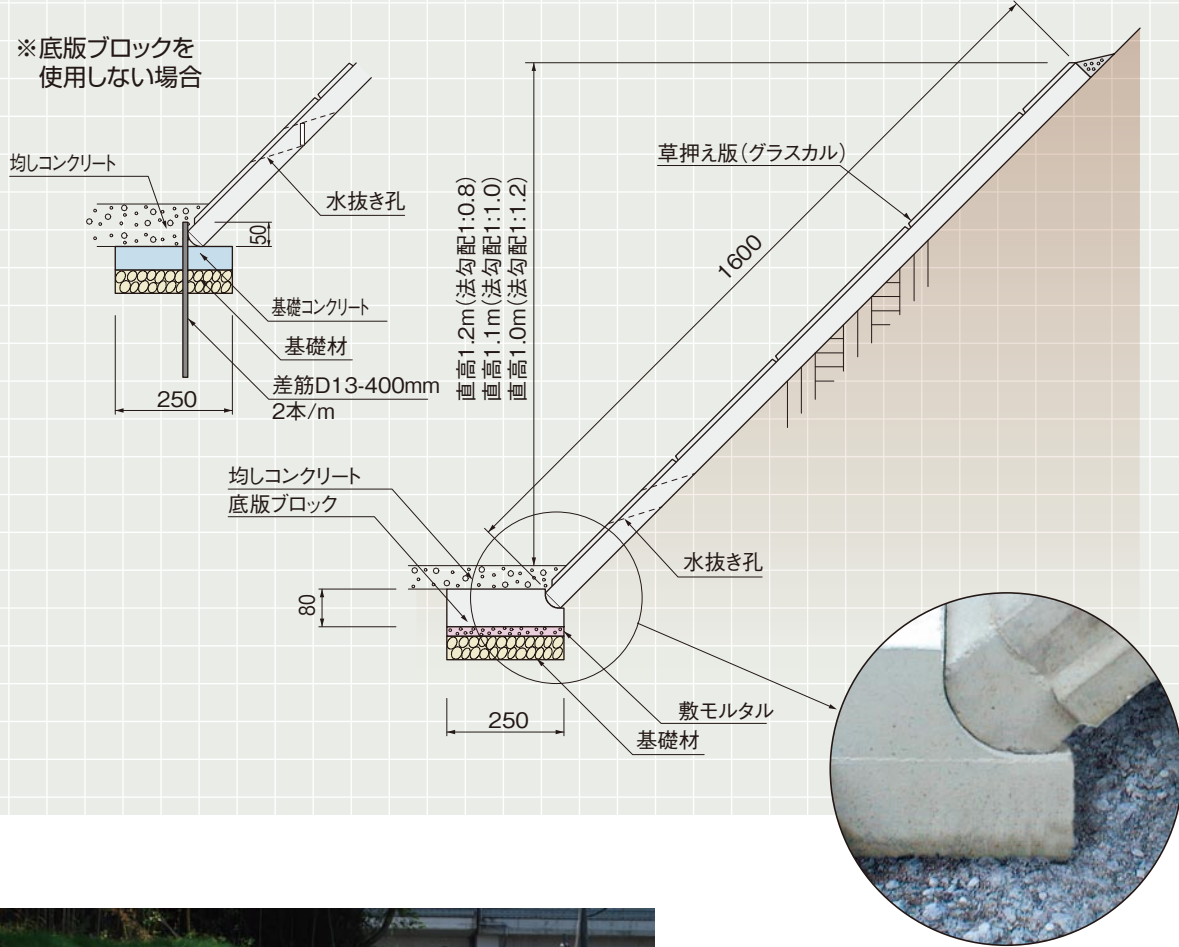
※ガイドピンは別途オプション販売です。

※地域により底版ブロックの凹凸勘合部が逆になる場合があります。

■標準施工断面図

※法長600、1100、1600、2200の組合せが可能です。

※底版ブロックを
使用しない場合



道路環境の維持管理に効果を発揮します。

高耐久性・高耐候性 不燃材料:NM-8313

GSボードライトとは…

従来のGSボードより施工性をさらに高めた製品です。

●特長

1.防災性

雑草へのタバコの投げ捨てによる火災の発生を防止します。
(不燃材料:NM-8313です)

2.安全性

雑草が車の運転の障害になるのを防ぎ、歩行者にも通行しやすい環境を保持します。

3.施工性

GRC素材の薄肉版で超軽量(従来のGSボードの約2割軽量)ですので、人力での運搬取付が容易です。また、天端コンクリートの打設も従来のGSボードより容易になりました。

4.安定性

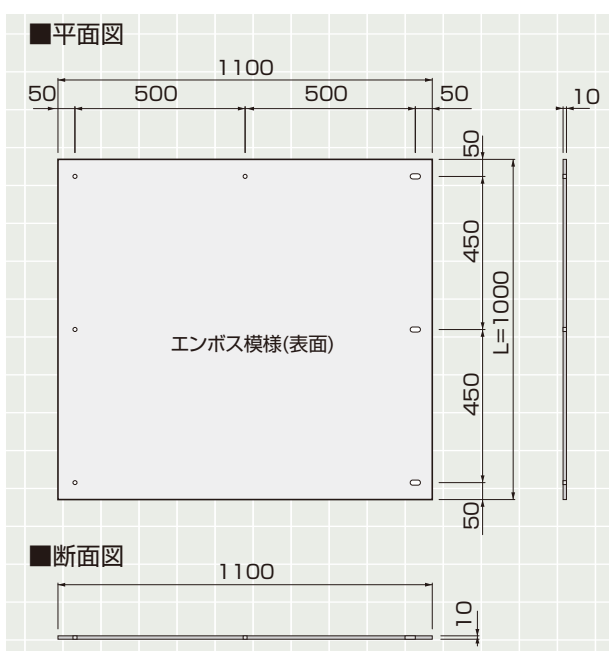
専用金具(ボードファスナー)により版と版を強固に連結し、天端コンクリートを打設するため、本体は軽量でも強風等でめくれる心配はありません。

5.密閉性

版接続部を専用金具(ボードファスナー)と支障ゴムで一体化することにより密閉され、隙間からの雑草の育成を抑制します。また太陽光も完全に遮断します。

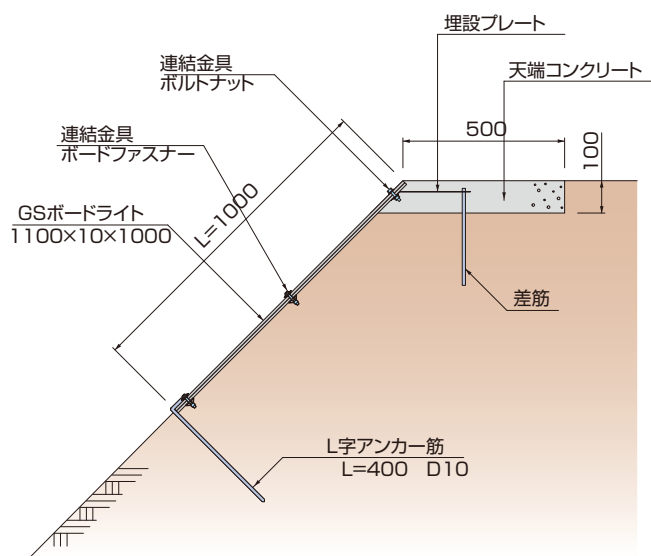


標準施工図



L=500～2000まで対応可能です。

標準施工図





重ね合せ部に支承ゴムを貼り、左右の製品を10cm重ねて設置し(写真2参照)、下部はL字アンカー筋で、左右はボードファスナーで、天端は埋設プレートでそれぞれ固定します。



埋設プレートはボルトナットで製品本体に取付け、差筋で固定します。製品とコンクリートの間に隙間ができないように、棒パイプ等で入念に充填しながら路肩部に天端コンクリートを打設します。



完成。

施工手順

- ※左の写真は試験施工ですので、実際の製品と金具の位置等が異なる箇所があります。
- ※法面整形時に必ず除草(木の根処理)してください。
- ※製品据付は法面成形の仕上がり状態に影響されますので、法面成形は正確に行ってください。
- ※連結金具ボードファスナーは専用工具ボードクイッカーで固定してください。
- ※天端コンクリートの伸縮目地は、製品接合部に合わせてください。
- ※製品下部の土壌浸食を考慮する場所では、植生ネット、土壌流出防止ネットなどで対応してください。

GSボードライト多段施工例

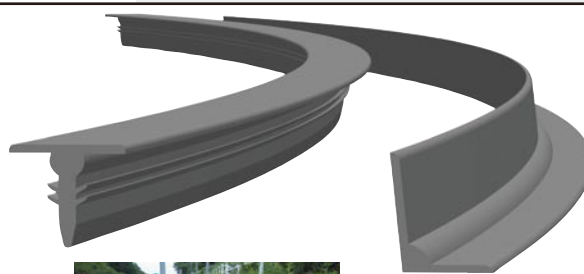
標準施工とは異なりますので、詳細は営業担当にお問い合わせください。



みぞピタ〈防草シール材〉

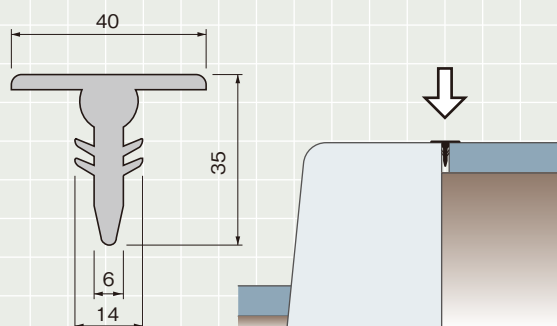
●特長

- 1.コンクリート構造物とアスファルト舗装の隙間から生える雑草を防止するゴム製のシール材です。
- 2.コンクリート構造物とアスファルト舗装の間にカッターをいれるため、隙間の中の雑草まで取り除くことができます。
- 3.特殊なくさび状の断面形状で溝から抜けにくくなっています。
- 4.新設時に使用できるタイプ(Bタイプ)もございます。
(マウンドアップ、セミフラットに対応)



Aタイプ

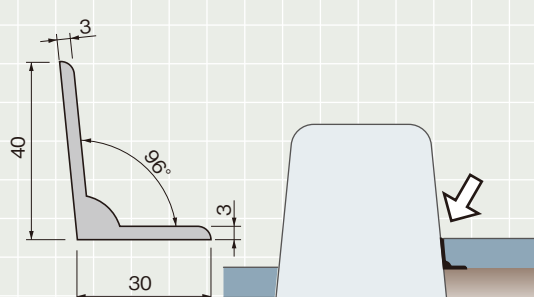
■断面図



マウンドアップに対応

Bタイプ

■断面図



セミフラットに対応

基本形状図

形状・寸法

- ①約1cmの溝ができるようにカッターを入れます。



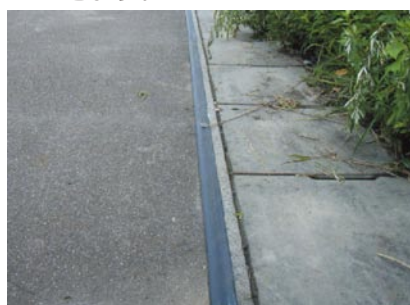
- ②2～3m間隔で、みぞに接着剤を注入します。



- ③製品1ロールは10m(Bタイプは3m)です。



- ④溝の中に製品下部を押し込んでいきます。



- ⑤最後の部分は、ハサミ等で切って調整してください。



施工手順

エッジボード〈GRC製仕切り板〉

GRC

エッジボードは、芝生やグランドカバープランツと舗装材や砂地や植込みとの間に、綺麗な境界線をつくる新しい見切り材です。従来使われていた波板や杉板などの見切り材に比べて、様々な点で優れ、これからの公園づくりや街の景観整備にすばらしい効果を発揮します。

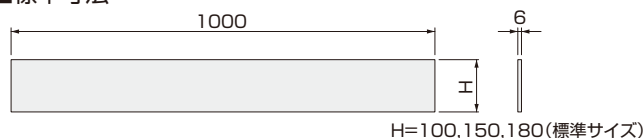
●特長

- 1.従来のプラスチック製品と違って、直線部が美しく仕上がります。
- 2.薄板なので、1mRのカーブも対応可能。美しいエッジラインを演出します。
- 3.主材がGRC製で熱に強く、アスファルト施工にも対応できます。
- 4.敷地の有効利用が可能で段差ができないバリアフリー対応です。

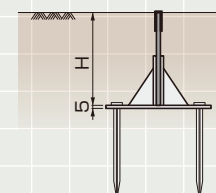
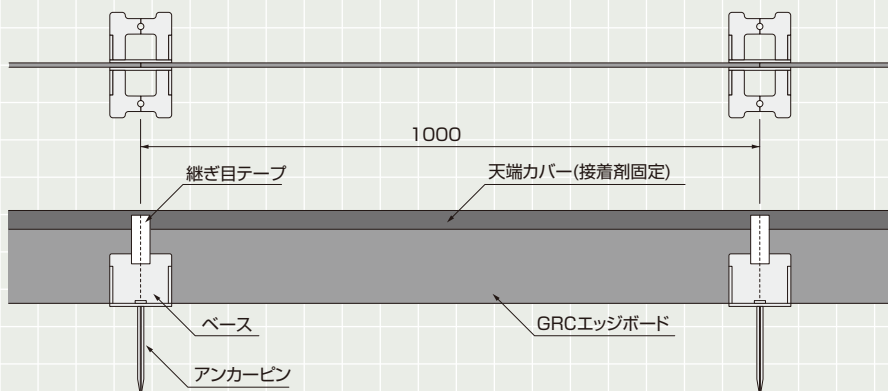


■形状・寸法

■標準寸法



■標準施工図



H=100,150,180(標準サイズ)

園路や遊歩道に最適



園路等の見切り材として

天端幅が6mmなのでスッキリとした景観を創出できます。

敷砂の流出は不陸の原因になります



舗装材の敷き砂 流失防止として

3%以上の勾配があるブロック系舗装の、不陸の原因の一つである敷き砂の流出を防止します。

縁石よりもすっきりした仕上がりになります



インター ロッキング舗装の見切り材として

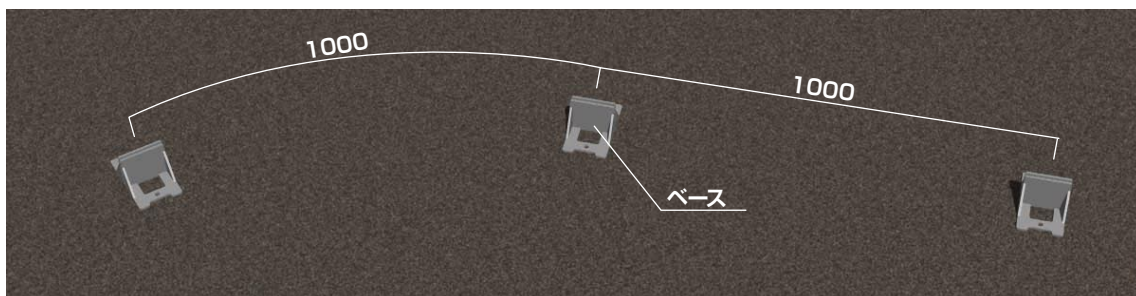
基本的に歩行者系道路であれば、インターロッキングの見切り材として使用できます(路盤構成に応じたサイズを使用します)

エッジボード施工手順

施工手順

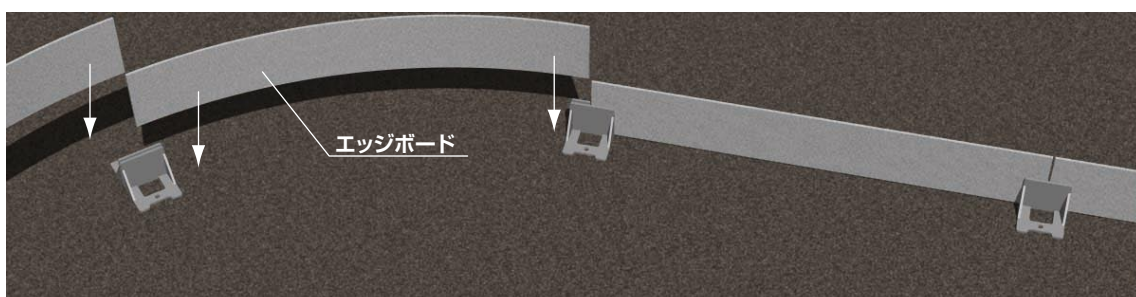
【1】ベース設置

床掘り後、高さを合わせて、エッジボード本体の継ぎ目の位置にベースを設置します。



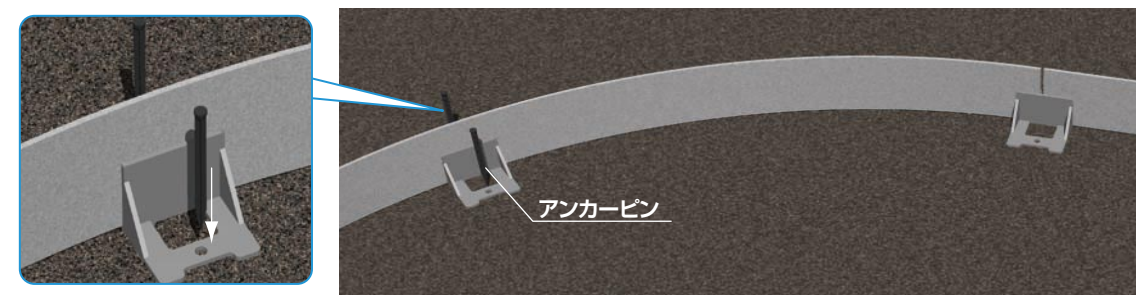
【2】エッジボード挿入

ベースのスリット部にエッジボードを挿入し、高さを微調整します。R部分は、所定のRになるように、手で少しずつ曲げてから挿入する。急激に曲げると割れる場合があります。



【3】アンカー打込み

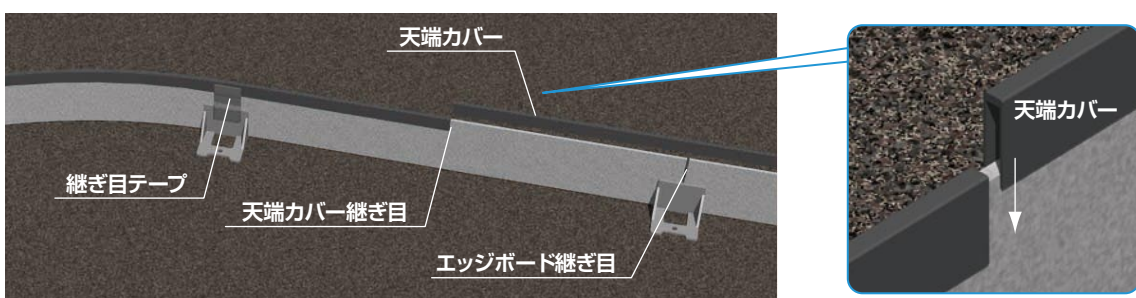
ベースにアンカーピンを打込みすれないようにします。(カーブ部など、ベースが動く可能性があるところだけでも可)



【4】天端カバー

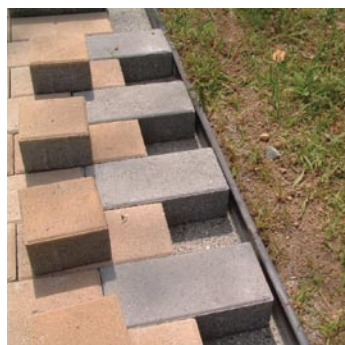
エッジボードの継ぎ目と天端カバーの継ぎ目が、重ならない位置に挿入します。

芝生・雑草等の根の侵入の防止と、天端カバーのズレ抑制を兼ねて、エッジボードの継ぎ目にテープを貼ります。



※天端カバーは転圧時に製品天端を保護する役割ですので、コンクリート舗装等の転圧をしない舗装の場合は必要はありません。また、天端カバーはアスファルト舗装の冷却時に縮み、継ぎ目に隙間ができる可能性があります隙間が目立った場合は、天端カバーの余りを切って挿入してください。

※舗装材側の基礎材及び埋め戻しと反対側の埋め戻しは製品がズレないように均等に投入してください。さらに、埋め戻した材料を数回に分けて足で踏み固めると、製品がより強固に固定されます。



■本社：鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9911 Fax.099(259)4100

■第一営業部

鹿児島営業所：鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800
南薩営業所：鹿児島県南九州市知覧町瀬世字牧口1160 〒897-0305
Tel.0993(84)2265 Fax.0993(84)2283
大島営業所：鹿児島県奄美市住用町大字城547 〒894-1111
Tel.0997(69)5311 Fax.0997(69)5055
北薩営業所：鹿児島県薩摩川内市中郷1丁目39-19 〒895-0072
Tel.0996(27)1930 Fax.0996(27)2962
姶良営業所：鹿児島県姶良市平松1880 〒899-5652
Tel.0995(65)3221 Fax.0995(65)3205
大隅営業所：鹿児島県鹿屋市川西町4029-2 〒893-0032
Tel.0994(43)4002 Fax.0994(43)4006
沖縄営業所：那覇市首里汀良町3丁目39-301 〒903-0806
Tel.098(943)5624 Fax.098(943)5629
鹿児島
設計技術課：鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800

■第二営業部

宮崎営業所：宮崎市田代町6-1 〒880-0855
Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059
日南営業所：宮崎県日南市大字平山390 〒887-0033
Tel.0987(23)5500 Fax.0987(23)3580
都城営業所：宮崎県都城市高城町石山2980 〒885-1205
Tel.0986(58)4518 Fax.0986(58)4826
延岡営業所：宮崎県延岡市北方町角田丑1042 〒882-0104
TEL.0982(28)5015 FAX.0982(28)5442
大分営業所：大分市大字上戸次字長河原3700番地 〒879-7764
Tel.097(597)1148 Fax.097(597)1607
宮崎
設計技術課：宮崎市田代町6-1 〒880-0855
Tel.0985(20)9241 Fax.0985(20)9059

■第三営業部

福岡営業所：福岡市博多区東比恵3丁目13-10
スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007
Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259
瀬高営業所：福岡県みやま市瀬高町廣瀬705番地 〒835-0001
Tel.0944(62)4123 Fax.0944(63)3281
長崎県対馬市上県町檉滝1062 〒817-1522
対馬出張所：Tel.0920(88)5800 Fax.0920(88)5801
熊本市中央区八王寺町40-6 A棟101号 〒860-0831
熊本営業所：Tel.096(378)5531 Fax.096(378)5532
福岡市博多区東比恵3丁目13-10
福岡
設計技術課：スピリッツ福岡B・C号室 〒812-0007
Tel.092(474)2450 Fax.092(451)5259

■第四営業部

大阪支店

大阪営業所：大阪市淀川区西中島6-7-3
第6新大阪ビル9F 〒532-0011
Tel.06(6306)6393 Fax.06(6302)0255
和歌山出張所：和歌山県岩出市西野148-1 ミムラビル5-D室 〒649-6235
Tel.0736(69)1780 Fax.0736(62)1720
広島営業所：広島市佐伯区旭園3番33号清水ビル5F 〒731-5133
Tel.082(943)5441 Fax.082(924)2056

東京支店

東京営業所：東京都港区浜松町2-8-9カノウビル2F 〒105-0013
Tel.03(5472)6288 Fax.03(5472)6289
仙台営業所：仙台市青葉区上杉3-9-4 マエタビル3F 〒980-0011
Tel.022(211)5131 Fax.022(211)5132
静岡営業所：静岡市清水区由比641-3 〒421-3103
TEL.054(375)5620 FAX.054(375)5630
山梨営業所：山梨県南アルプス市荊沢386 〒400-0422
TEL.055(284)6230 FAX.055(284)6237

■住宅環境事業部：鹿児島市与次郎2丁目7番25号 〒890-0062
Tel.099(252)9978 Fax.099(259)4800

■総合技術研究所：鹿児島県姶良市平松3141-1 〒899-5652
Tel.0995(65)6998 Fax.0995(64)5801

■ゴルフ事業部：鹿児島市直木町6000番地 〒899-2705
Tel.099(278)5201 Fax.099(278)5265

※社会情勢により、やむなく価格、形状を変更する場合がございますので
ご了承ください。



注意

●施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は
弊社または販売代理店にご相談ください。

担当部署

販売店